

スマホに電子マネー機能は不可欠!?

携帯・スマホの電子マネーの利用状況、利用経験者と利用意向者を含めると4割以上

- 携帯電話・スマートフォンでの電子マネー利用に関する調査 -

URL: <http://research.rakuten.co.jp/report/20120419/>

楽天リサーチ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森 学、以下「楽天リサーチ」）は、従来型の携帯電話（以下 携帯）、Android (TM) を搭載したスマートフォンおよびiPhoneユーザー（以下 スマホ）に、携帯およびスマホ経由での電子マネーの利用に関するインターネット調査を実施しました。今回の調査は、3月27日から29日の3日間、楽天リサーチ登録モニター（約220万人）の中から、全国の20歳から49歳の男女計1,200人を対象に行いました。

■□ 調査結果概要 □■

【総括】

独立行政法人造幣局が2011年の1円玉の製造枚数が43年ぶりにゼロだったことを発表し、その理由に電子マネーの普及が挙げられている。また、「おサイフケータイ®」機能付きのスマホの普及が国内1,000万台を突破し、今後ますますスマホの出荷台数が拡大していくにつれ注目される電子マネーについて、携帯とスマホ経由での利用に関する調査を行った。

携帯かスマホの電子マネーの利用経験をたずねたところ、3割以上が使ったことがあると回答した。また「使ったことはないが、これから使う予定」と回答した人を合わせると、4割以上が電子マネー利用経験者および利用意向のある人だということが分かった。一方、今後発売されるiPhoneにも電子マネー機能が搭載されたら買い替えを検討するかどうかをたずねたところ、約3割が「買い替えを検討する」と回答した。今後、スマホの普及が加速すると言われている中で、スマホを購入する際の選択基準として電子マネー機能が挙げられるのではないかと。

タブレットPCの購入意思のある人を対象に、タブレットPCに電子マネーが搭載された場合に利用するのかをたずねた。「店頭・ネットショッピングの支払いの両方で利用する」が31.6%、「ネットショッピングのみで利用する」が19.1%、「店頭での支払いで利用する」が8.6%となった。利用意向のある人は59.3%にのぼることから、iPhoneやタブレットPCなど新端末に搭載されるごとに電子マネーの普及が拡大すると分析している。

■ スマホの選択基準として電子マネーは不可欠!? 携帯・スマホの利用者、利用意向のある人を含めると4割以上

過去に携帯かスマホ経由で電子マネーを利用したことがあるかをたずねた。31.5%は利用経験があり、「使ったことはないが、これから使う予定」という回答（12.3%）を合わせると、43.8%の人が携帯およびスマホ経由で電子マネーを利用したことがある人および利用意向のある人だということが分かった。

もし電子マネー機能を搭載したiPhoneが発売されたら、現在の機種から買い替えを検討するかどうかを全員に聞いたところ、約3割（27.8%）が買い替えを検討すると回答した。現在のiPhoneには電子マネー機能は搭載されておらず、iPhone専用の電子マネーシールやケースに電子マネーのカードを挿入して電子マネーを利用しているユーザーもいる。今後、スマホの普及が加速すると言われていの中で、スマホを購入する際の選択基準として電子マネー機能が不可欠になってくるのではないかと。

■ 利用経験のある電子マネーのトップは「Edy」、利用場所のトップは「コンビニエンスストア」

携帯・スマホ経由で電子マネーを利用した経験がある人に、利用したことがある電子マネーを聞いた（複数選択）。トップは「Edy」（72.8%）で、続いて「Suica」（37.2%）、「nanaco」（27.2%）となった。

また同じ対象者に、電子マネーを利用したところのある場所を聞いたところ（複数選択）、トップはダントツで「コンビニエンスストア」（84.7%）、続いて「スーパー」（48.0%）、「自動販売機」（37.2%）、「駅（切符・定期券）」（36.1%）、「ファストフード店」（33.5%）だった。「Edy」はコンビニエンスストアやスーパーでの利用率が高く、交通系や流通系の電子マネーは定期券や会員カードの利用率が高いと分析している。

■ コンビニチャージをしない理由、「チャージしてもらおうのが申し訳ない」（14.2%）という意見も

電子マネーのチャージ方法についてたずねた（複数選択）。ダントツトップは、「クレジットカード」で51.2%、続いて「コンビニエンスストアのレジ」が38.5%だった。

「コンビニエンスストアのレジ」でチャージしない人にその理由を聞いたところ、「ほかのチャージ方法を利用している」（58.8%）が圧倒的に多く、「店頭に行くのが面倒」（30.0%）、「コンビニエンスストアのレジでチャージできることを知らなかった」（16.3%）が続いた。「チャージしてもらおうのが申し訳なく感じる」（14.2%）などの日本人特有の遠慮がちな意見もあった。

■□ 調査結果 □■

■ スマホの選択基準として電子マネーは不可欠！？

携帯・スマホの利用者、利用意向のある人を含めると4割以上

過去に携帯かスマホ経由で電子マネーを利用したことがあるかをたずねた。31.5%は利用経験があり、「使ったことはないが、これから使う予定」という回答（12.3%）を合わせると、43.8%の人が携帯およびスマホ経由で電子マネーを利用したことがある人および利用意向のある人だということが分かった。

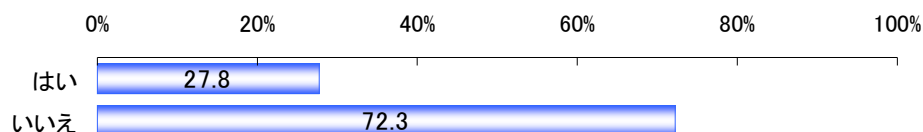
もし電子マネー機能を搭載したiPhoneが発売されたら、現在の機種からの買い替えを検討するかどうかを全員に聞いたところ、約3割（27.8%）が買い替えを検討すると回答した。現在のiPhoneには電子マネー機能は搭載されておらず、iPhone専用の電子マネーシールやケースに電子マネーのカードを挿入して電子マネーを利用しているユーザーもいる。今後、スマホの普及が加速すると言われていの中で、スマホを購入する際の選択基準として電子マネー機能が不可欠になってくるのではないかと。

◇携帯電話・スマートフォンで電子マネーの利用経験（n=1,200） 単位：%

	n	%
全体	1200	100.0
1 従来型の携帯電話の電子マネーを使っている	150	12.5
2 従来型の携帯電話の電子マネーを過去に使ったことはあるが、今は使っていない	125	10.4
3 スマートフォンの電子マネーを使っている	77	6.4
4 スマートフォンの電子マネーを過去に使ったことはあるが、今は使っていない	10	0.8
5 従来型の携帯電話とスマートフォンの電子マネーをどちらも使っている	11	0.9
6 従来型の携帯電話とスマートフォンの電子マネーをどちらも過去に使ったことがあるが、今は使っていない	6	0.5
7 使ったことはないが、これから使う予定	147	12.3
8 使ったことがないし、これから使うか未定	674	56.2

◇今後電子マネー機能を搭載したiPhoneが発売された場合、現在の機種から買い替えを検討しますか。

(n=1,200) 単位：%



■ 利用経験のある電子マネーのトップは「Edy」、利用場所のトップは「コンビニエンスストア」

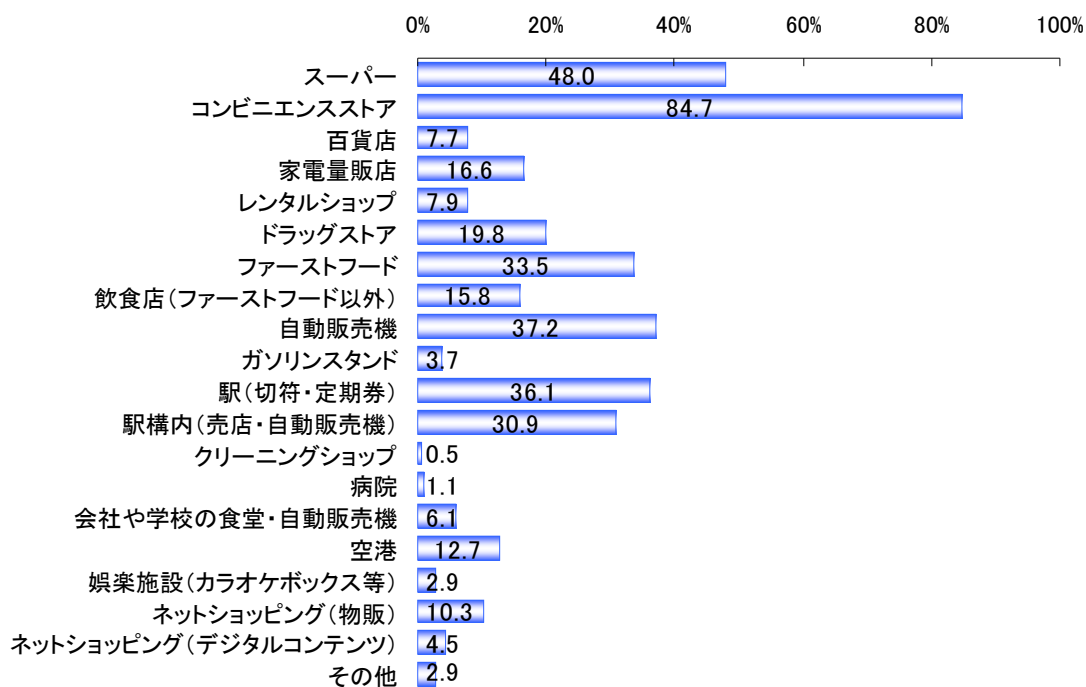
携帯・スマホ経由で電子マネーを利用した経験がある人に、利用したことがある電子マネーを聞いた（複数選択）。トップは「Edy」（72.8%）で、続いて「Suica」（37.2%）、「nanaco」（27.2%）となった。

また同じ対象者に、利用したことのある場所を聞いたところ（複数選択）、トップはダントツで「コンビニエンスストア」（84.7%）、続いて「スーパー」（48.0%）、「自動販売機」（37.2%）、「駅（切符・定期券）」（36.1%）、「ファストフード店」（33.5%）だった。「Edy」はコンビニエンスストアやスーパーでの利用率が高く、交通系や流通系の電子マネーは定期券や会員カードの利用率が高いと分析している。

◇利用経験がある電子マネー (n=379) 複数選択 単位：%

	n	%
全体	379	100.0
1 Edy	276	72.8
2 nanaco	103	27.2
3 WAON	99	26.1
4 iD	78	20.6
5 QUICPay	48	12.7
6 Suica	141	37.2
7 PASMO	55	14.5
8 Kitaka	6	1.6
9 ICOCA	31	8.2
10 PiTaPa	13	3.4
11 TOICA	6	1.6
12 manaca	8	2.1
13 SUGOCA	1	0.3
14 はやかけん	4	1.1
15 nimoca	7	1.8
16 Bitcash	5	1.3
17 WebMoney	16	4.2
18 ちょコムeマネー	5	1.3
19 その他()	1	0.3

◇電子マネーを利用したことがある場所 (n=379) 複数選択 単位：%



■ コンビニチャージをしない理由、「チャージしてもらおうのが申し訳ない」(14.2%) という意見も

電子マネーのチャージ方法についてたずねた(複数選択)。ダントツトップは、「クレジットカード」で51.2%、続いて「コンビニエンスストアのレジ」が38.5%だった。

「コンビニストアのレジ」でチャージしない人にその理由を聞いたところ、「ほかのチャージ方法を利用している」(58.8%)が圧倒的に多く、「店頭に行くのが面倒」(30.0%)、「コンビニエンスストアのレジでチャージできることを知らなかった」(16.3%)が続いた。「チャージしてもらおうのが申し訳なく感じる」(14.2%)などの日本人特有の遠慮がちな意見もあった。

◇電子マネーのチャージ方法 (n=379) 複数選択 単位：%

	n	%
全体	379	100.0
1 コンビニエンスストアのレジ	146	38.5
2 現金チャージ機	121	31.9
3 クレジットカード	194	51.2
4 オートチャージ	59	15.6
5 銀行口座	20	5.3
6 携帯電話のキャリア決済でのチャージ	31	8.2
7 その他()	8	2.1

◇コンビニでチャージしない理由 (n=233) 3つまで選択 単位：%

	全体	n	%
1	コンビニエンスストアのレジでチャージができることを知らなかった	38	16.3
2	はずかしい	21	9.0
3	チャージしてもらおうのが申し訳なく感じる	33	14.2
4	店頭に行くのが面倒	70	30.0
5	他のチャージ方法を利用している	137	58.8
6	チャージができるコンビニエンスストアが近くにない	5	2.1
7	コンビニエンスストアのレジでチャージできることは知っているが、その方法が分からない	5	2.1
8	使っている(いた)電子マネーがコンビニエンスストアのレジでチャージできない	3	1.3
9	その他()	13	5.6

■ アプリやソーシャルゲームの決済は「クレジットカード」か「通話料」で

スマートフォンでアプリやソーシャルゲームを利用する場合、決済はどのような手段で行っているのだろうか。複数選択で聞いたところ、「クレジットカード支払い」(43.05%)、「通話料支払い」(28.7%)が比較的多く、「電子マネー支払い」は13.5%だった。「電子マネー支払い」については、クレジットカードを保有できない人や電子マネーで上手にポイントを貯めている人の利用があると分析している。

◇アプリやソーシャルゲームの決済方法 (n=251) 複数選択 単位：%

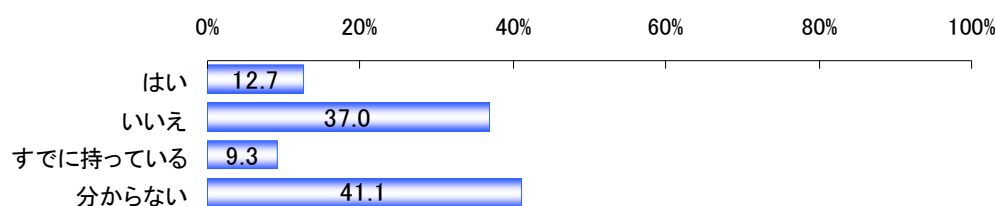
	全体	n	%
1	携帯電話通話料支払い	72	28.7
2	クレジットカード支払い	108	43.0
3	プリペイドカード支払い	10	4.0
4	電子マネー支払(Edy、Suica、WAONなど)	34	13.5
5	スマートフォンのマーケット支払(AppStore、GoogleCheckout)	16	6.4
6	その他()	0	0.0
7	アプリ購入やソーシャルゲームをしない(課金しない)	58	23.1

■ タブレットPC購入予定者の8割近くが、タブレットでの電子マネーの利用意向あり

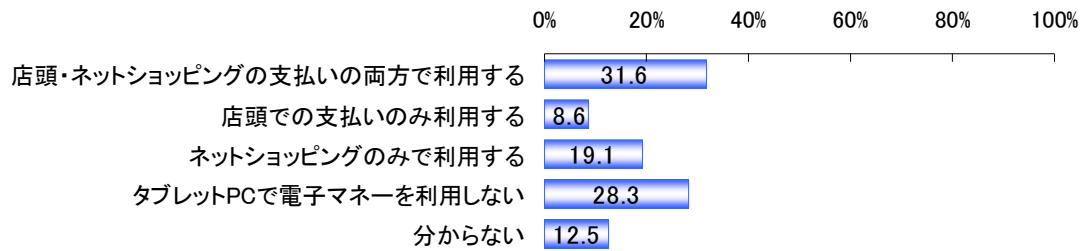
タブレットPCの購入に関する質問をしたところ、「購入する」は12.7%、「購入予定なし」が37.0%となった。「すでに持っている」という回答も9.3%あった。

購入予定があると答えた人に、タブレットPCに電子マネー機能が搭載されたら利用するかどうかを聞いたところ、「店頭・ネットショッピングの支払いの両方で利用する」が31.6%、「ネットショッピングのみで利用する」が19.1%、「店頭での支払いのみ利用する」が8.6%などとなった。利用意向のある人は59.3%にのぼる。

◇タブレットPCを購入する予定がある？ (n=1,200) 単位：%



◇タブレットPCに電子マネー機能が搭載されたら利用する？ (n=152) 単位：%



【調査概要】

調査エリア : 全国

調査対象者 : 20歳から49歳の男女

回収サンプル数 : 1,200サンプル (性年代均等割付 各セル200サンプル)

調査期間 : 2012年3月27日から29日

調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

◆◆◆関連サイト◆◆◆

■楽天マネーサービス URL → <http://money.rakuten.co.jp/>

楽天が提供する金融サービスをワンストップでご紹介。また、楽天カード、楽天証券、楽天銀行ほか、多数の金融機関の口座情報が楽天会員IDとパスワードだけで一覧表示できる「口座管理サービス」も提供中。

以上

【お問い合わせ先】

楽天株式会社 広報部 (担当：高田)

TEL : 050-5817-1104 Email : pr@mail.rakuten.com